

# 最先端を走る電腦型サロン

## しむ！ハルカトレース鳩クラブ♣第1回懇親会開催



LINEを使ったSNSグループ「ハルカトレース鳩クラブ♣」の第1回懇親会は、静岡連盟の強豪との交流会を兼ねて開催。前列左から3人目が発起人の1人・神谷 中氏、後列左から4人目が発起人の1人・宇野滋男氏。



☆18時からスタートした宴会は、場所を変えながら日付の変わる0時過ぎまで続いた。今回、松井和憲氏がサングラスを使ってパフォーマンスを行い、これが参加者の笑いをさそっていた。

去る7月1日、静岡市清水区にある「駿河健康ランド」にて、『ハルカトレース鳩クラブ♣』第1回懇親会が行われた。SNSの交流をきっかけに設立された同クラブは、北は北海道から西は兵庫とメンバーが広範囲であり、今回は全国から18名が出席。駿河湾直送の海産物に舌鼓を打ち、また化石海水を使った名物の温泉を堪能しながら、夜遅くまで親交を深めた。

ハルカトレース鳩クラブ♣(発起人 宇野滋男)

〒 510-8001

三重県四日市市天力須賀 2-15-4 ☎ 090-8955-5943



# SNSで鳩レースを満喫！

## ソーシャルネットワークを駆使して鳩レースを楽

### ハルカ鳩レース倶楽部◆第1回懇親会・出席者のコメント

宇野滋男氏(発起人/桑名・17年濃尾連盟桜花賞総合3、4、8位)

「昨年、スマートフォンを購入しまして、普段からお世話になっている神谷さんを中心としたSNSグループを作ってみました。現在全国から23名のレースマンたちが随時LINEを通して連絡を取り合っています。これからもこういった交流を続けていきたいですね。ちなみに私は、管理は嫁、訓練は神谷さんに助けてもらっているのですが(笑)、このグループのおかげでいるな知識が身に付き、今シーズンの桜花賞で総合シングルに3羽入賞しました」



神谷 中氏(尾北・07年日本最優秀鳩舎賞を含め日本優秀鳩舎賞5回)

「LINEだけでなく、実際にお会いして懇親を深められるというところは、本当に楽しいことです。これもまた鳩レースの世界ならではの醍醐味だと思います。いつまでもこういった会を続けていければ最高です。このSNSグループは、北は北海道から西は兵庫県とメンバーはかなり広範囲です。毎日、各地区の情報が入ってきて楽しいですし、また勉強にもなりますね」



菅野 勲氏(仙台南部・第4回ブロックチャンピオン賞)

「初対面の方ばかりでしたが、和気藹々と楽しい時間を過ごすことができました。今年はCHで1羽落すことができましたが、ブロックチャンピオン賞では2番目と2年連続の受賞はできませんでした。SNS内では文字だけでなく、画像、動画がアップされていて、結構なヒントが隠れています。皆さんとの交流を通して、レベルアップしていきたいですね」



竹井芳貴氏(北つくば・東日本CH総合2位他シングル多数)

「今回、このようなオプ会を開いて頂きまして、ありがとうございます。いつもSNSを通してですが、メンバーの皆さんと直に親睦を深めることができ、とても楽しい時間を過ごせました。来年以降もこういった会を開いて頂き、友好を広げていければ、と期待しています」



グループのメンバーで今回の幹事を務める横地光彦氏の発声で乾杯。駿河湾直送の刺身に舌鼓を打ちながら、メンバーたちは鳩談義に花を咲かせた。

### 「コミュニケーションアプリ」

近年、レースマンの中で密かにコミュニケーションアプリ「LINE」というSNS(\*ソーシャルネットワーク)が流行っていることをご存じだろうか。スマートフォンで使えるアプリで、テキストでメッセージを送ることはもちろん、画像、動画、位置情報の通知、そして電話と幅広いツールが使用でき、しかもそれらは全て無料！レース中の帰還状況を動画やメッセージを使って仲間知らせるなど、自身のピジョンライフを充実させるアイテムとして活用されているようだ。

日本最優秀鳩舎賞を含めて日本最優秀鳩舎賞5回の強豪・神谷中氏(尾北)とその弟子・宇野滋男氏(桑名)が立ちあげた「ハルカ鳩レース倶楽部」という「LINE」を使ってのグループチャット(\*複数

数名が同時に接続してリアルタイムでコミュニケーションをとることは、毎日、賑わいを見せている。ちなみに「ハルカ」とは神谷氏の基礎鳩の名前だ。メンバーは北は北海道から西は兵庫まで広がり、ベテラン、新人とキャリアもまた幅広い。現在23名がこのグループチャットにエントリーしており、情報交換が盛んに行われているようだ。神谷氏をはじめ、横地光彦氏、竹井芳貴氏といった著名レースマンが参加しているとあって、「餌の食い」や「舎外の様子」が画像や動画でアップされると、的を得たメッセージが都度、発信されており、当人に限らず新人にとって良い学習の場にもなっている。

去る7月1日、「ハルカ鳩レース鳩クラブ」の懇親会が行われた。前述の通りメンバーが広範囲であるため、中間地である静岡を会場にセレクト。駿河湾が一望できる温泉で有名な「駿河健康ランド」にて行われた。また今回は幹事である横地氏のはからいで、かつての日本一・大井昭義氏など静岡連盟を代表するレースマンたちも参加し、情報交換を交えた鳩談義はますます充実したものに。中でも14年に全日本ゼネラルCH賞を獲得した若きレースマン・松井和憲氏は、サングラスを使っての一発芸を披露



★グループチャットの一部。舎外の様子を動画で張り付けると、メンバーたちからメッセージがアップ。このような情報交換が盛んに行われている。



ハルカトレース鳩クラブ 第1回懇親会・出席者のコメント



**前田 均氏(社・17年兵庫県連盟GP総合2位)**

「兵庫県から参加させて頂きました。60歳を過ぎてこういった新しい出会いがあるのは素晴らしいですね。鳩レースをやっていたよかったと改めて思います。SNSではやかましいくらいメッセージや画像、動画をアップしていますが(笑)、よろしくお願いたします」



**横地光彦氏(静岡県・第10回ダイヤモンドマーク賞)**

「『ハルカトレース鳩クラブ』のメンバーは、新人の方が結構多いです。なので今回は単なるオフ会だけでなく、静岡連盟の強豪鳩舎を呼びまして合同の懇親会とさせていただきます。みなさん、楽しそうに親睦を深めていたようなので、よかったですと思います。お酒を飲みながら仲間と鳩談義をします。本当に幸です」



**国持和義氏(大静岡・17年春連盟最優秀鳩舎賞)**

「神谷さんには大変お世話になっております。私のスタンスは、オフシーズンは和気藹々と、レース中は真剣勝負ですね。ちなみに今春、連盟の最優秀鳩舎賞を獲得できました。『ハルカトレース鳩クラブ』のメンバーとの交流は本当に楽しかったのでまた遊びに来てください」



**鈴木幸生氏(大静岡・15年東日本権内GN1200K連盟優勝)**

「横地さんの掲示板のトップ画面の後ろで飼育しています。横地さんのテクニックを少しでも盗もうと常にチェックしていますね(笑)。距離差はゼロメートルなので、ホント入舎勝負です。横地鳩舎と今年連盟最優秀鳩舎賞を獲得した国持鳩舎の打倒を目指して、頑張ります」



**伊藤和芳氏(静岡県・17年春静岡連盟Rg総合4、5位)**

「Rg狙いで管理をしているのですが、今年は望月洋志さんに完全にやられました。伊藤だけにいっとうとりたいんですけどね(笑)。ヨーロッパの最新の飛び筋を入れたので、今秋から勝負といきたいところですが、横地さんが復帰するので、難しいかも(笑)」



**梅村 勝氏(尾北第二)**

「昨年、45年ぶりに鳩飼育を再開した“かつての鳩少年”です。鳩を見てはただで幸せな自分がこんな強豪ばかりのグループに参加しているなんて、不思議ですね(笑)。種鳩は2ペアしかいませんが、北海道からの1000K帰選を目指して頑張ります」



**村岡 洵氏(大静岡・第3回ブロックチャンピオン賞)**

「鳩についてはよくわかりません。掃除と餌をただひたすらしているだけです。『ハルカトレース鳩クラブ』のSNSは情報が豊富で楽しそうですね。ちょっとのそいで、飼ひ方についてヒントだけでも知りたいですよ(笑)」



**神田厚司氏(尾北第二)**

「再開して2年目です。まだまだわからないことばかりなので、『ハルカトレース鳩クラブ』のグループトークの内容は非常に参考になりますね。私もみなさんの知識を吸収して大きく成長したいと思えます。これからよろしくお願いたします」



**望月洋志氏(大静岡・15年春～17年春静岡連Rg総合優勝)**

「静岡の“弱い方”の望月です。今季は国持さんと伊藤さんが静かにしてくれましたので、Rgで三連覇することができました。目標は地区N。管理にしろ、鳩にしる横地さんにならって闘いたいと思います」



**横井司馬夫氏(尾北第二)**

「昨年の10月から鳩飼育を再開しまして、デビュー予定の秋レースが心配です(笑)。今回の席でいろいろと教えて頂ければ、と思いましたが、業界誌に掲載されるような有名人ばかりで恐縮してしまいました。なのでSNSを通してみなさんから、知恵を貸していただければ幸いです」



**大井昭義氏(静岡吉田・第2回日本最優秀鳩舎賞)**

「鳩舎は長いですが、鳩のことは全然わかりません。昨年は桜花賞で三地区優勝できましたが、今年はいいところがありませんでした(笑)。静岡市内のレースマンとは約30Kの距離差がありますが、一生懸命鳩飼育に専念して、そして勝ちたいと思います」



**伊藤 明氏(桑名・17年濃尾連盟SC400K総合15位)**

「SNSの交流だけで、面識のない方ばかりな上、有名人も多かったもので緊張しましたが、楽しい時間を過ごすことができました」



**松井和憲氏(静岡吉田・第12回ベストマーク賞)**

「私自身、地理的にはものすごく不利ではありますが、勝利を目指し、師匠の大井さんをはじめ、いろいろな方から勉強させてもらっています。特にRg三連覇の望月さんには勝ちたいですね。交流会ではサングラスを装着して“おいた”をしてしまいました(笑)。『ハルカトレース鳩クラブ』の皆さん、これからもよろしくお願します」



**四方博志氏(京都府北部)**

「神谷さんからまだガラケーを使っているのか?と聞かれては娘に頼んでスマホデビューをしました。横地会では“京都支店長”で通っています(笑)。鳩舎規模は人並み以上ですが、成績は…。やっとSNSグループに入りましてしたので、神谷さんが日々何をしているのかをチェックし、鍛えていきたいと思えます」

ハルカトレース鳩クラブメンバー  
(\*欠席者のみ掲載)

- ・高橋浩之氏(北日本)
- ・逢坂晴広氏(上磯)
- ・小口兼司氏(山梨第二)
- ・大野典幸氏(尾張)
- ・中嶋光彦氏(丹後但馬)
- ・酒井徳次氏(諏訪支部)
- ・西 明雄氏(金沢)
- ・藤原昭男氏(京都府北部)
- ・咲花 尚氏(社)
- ・岸本柳平氏(社)

し、大きな笑いを誘っていた。懇親会は日が変わる0時過ぎまで行われたとのこと。メンバーたちはみな楽しい時間を過ごしたようで、翌日のグループチャットには「参加して良かった」というメッセージが多数書き込まれていたようである。

さてスマートフォンの利用者は5900万人にのぼり、高齢者によるガラケーからスマホへの移行率は4割に到達。ちなみにシニアの「LINE」利用者数もこれに比例して増えているそうだ。現在は「個人対個人」で楽しんでいる愛鳩家が多いようだが、「ハルカトレース鳩クラブ」のような「SNS系サロン」なら動画や画像を使って「鳩舎の今」をアップすれば、たくさんの方の意見が得られるし、メンバーなら誰もが閲覧できる。スマートフォンとして勉強するツールとして実に「理」にかなっており、まさに教科書だ。またボタン一つでメンバー全員に情報が発信可能。帰還報告という面でもかなり利用できそうである。レースマンたちのSNSグループが今後、増えてくるかもしれない。